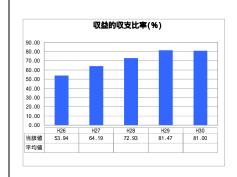
経営比較分析表(平成30年度決算)

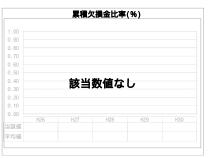
佐賀県 油埼市

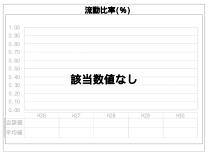
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
_	該当数値なし	1 71	100.00	3 780

人口(人)	面積(km²)	人口密度(人/km²)
31,775	125.13	253.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)
542	0.20	2,710.00

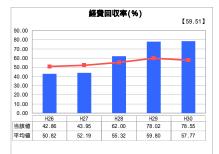
1. 経営の健全性・効率性



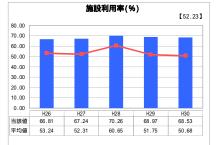










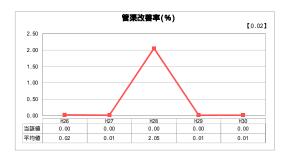




2. 老朽化の状況







グラフ凡例

当該団体値(当該値)

· 類似団体平均値(平均値)

【 】 平成30年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、年々増加していたが、維持管理費等の経費節減により回復傾向にある。また、比率が100%未満のため収支が赤字であることを示しているので、来年度には、公共下水道への繋ぎ込みを控えており、さらなる経費削減等を行い経営改善に努める必要がある。

経費回収率については、使用料と正比例して汚水 処理費も増加傾向にあるが、経年比較をすると、改 無傾向にある。類似団体平均値と比較すると、平成 26年度決算では同水準であったものの、平成30年度 は需用費等の経費節減により平均値を上回って推移 している。

汚水処理原価については、汚水処理費の増加に伴 い類似団体平均値を下回っている。また、経費回収 率は公共下水道への繋ぎ込みを控えており、需用費 等の経費節減により平成29年度並みに増加した。

施設利用率については、処理水量の変動も少な く、類似団体平均値と比較すると、高い水準で推移 している。経年比較をすると、平成28年度までは増 加傾向であったが、平成29年度以降は同水準で推移 している。

水洗化率については、類似団体平均値と比較する と、低い水準で推移していたが、既存アパート接続 や新規加入に伴い増加したものの、転入転出の増減 を繰り返している傾向がある。受益地についても開 発等による増加が見込めない地域であり、区域内人 日も減少傾向であるため、経営の健全化のためには 公共下水道への繋ぎ込みが必須である。

2. 老朽化の状況について

平成10年3月31日供用開始を行り、20年を経過して いる。管渠改善率については、平成10年度より、管 渠の更新等は行っていないため、数値は計上されて いないが、区域内の配管不明水調査委託を平成26年 度に行い、定期的な管路清掃やマンホールポンプの 清掃を行っている。

維持管理費に比例した収入増が見込めない状況であるため、老朽化の対策として来年度まで設備された公共下水道の繋ぎ込みを計画しているので、公共下水道区域として、広域化を行い長寿命代計画の策定は取り込んだ市全域の管の改修等が出ないよう道路陥没後の老朽管路の改築といった事後的な対応にならない取り組みが急務となっている。

全体総括

収益的収支比率において収支が赤字であり、経費削減等による経営改善に努める必要があるが、受益地の人口についても減少傾向である地域で、水洗化率の増も見込めない区域かつ、経費回収率も100%に届かず低水準で推移しているので、市の汚水処理施設の維持管理費削減として一刻も早く公共下水道へ接続しなければならない。また、令和2年度からの企業会計移行により、経営状況と財政状況を明確化し、下水道事業の経営基盤強化と持続可能な事業運営の確立を目指す。